

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	図書館の管理運営			担当課名	教育こども課
(予算書コード)	10-04-04-05-01 10-04-04-10-01			担当係名	図書館係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	図書館法、下諏訪町立図書館条例、下諏訪町立図書館規則、下諏訪町立図書館協議会規則				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町民を中心に諏訪広域圏の住民に、知る権利・学習権を保障し、読書・調査研究の場を提供するため、書籍・雑誌・視聴覚資料等を収集・整理・保存し、貸出し・閲覧をとおして提供する。多様化する町民ニーズに応えるため、資料の充実を努める。また、子どもたちの読書を推進し、町民の読書・生涯学習の意欲を高め、親しみのある図書館にするため、様々な事業を展開する。読書にハンディーキャップのある人へのサービスの拡充につとめる。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	人口一人当たりの貸出冊数	貸出し冊数/町人口 (目標値は県平均)	冊	目 標	6	6	5
				実 績	10	10	/
達成率	166.7%	166.7%	/				

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算		
事業費	事業費 A	33,097 千円		42,394 千円		34,774 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	12.00 人	13,713 千円	12.00 人	14,918 千円	13.00 人	13,940 千円	
	正規職員人件費 B	2.00 人	12,833 千円	2.00 人	13,233 千円	3.00 人	19,749 千円	
事業費合計 C (A+B)		45,930 千円		55,627 千円		54,523 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		528 千円		407 千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	千円		5,700 千円		千円	
		その他	583 千円		1,107 千円		597 千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源 (町の負担)		45,347 千円		48,292 千円		53,519 千円		
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない 図書館法に基づき、図書館は住民にその求めている情報・資料を無料で提供する使命を持っている。
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である 下諏訪町民は4,630人、町外の方7,404人の計12,034人の方が下諏訪町立図書館の登録利用をされている。図書館法の定めにより資料提供は無料を原則としている。対価のあるコピーサービスは利用者に費用負担を求めている。資料の紛失・汚損等は利用者に弁償を求めている。
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である システムを更新し諏訪広域ネットワーク内の本の配送が効率的になり、予約された本が利用者に届く時間が短縮された。諏訪地方やそれ以外の他館への貸出数は新型コロナ禍による休館もあり、減少している。少数の正規職員と会計年度任用職員で効率的な運営がなされているが、長期的な視野に立った人員配置が求められる。
達成度	A	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以上である 町民一人当たりの貸出数は10冊で昨年と同数である。しかし、県の平均6冊を上回る数値である。一般書、児童書の貸出数もコロナ禍による休館を考慮すると大きな減少とはなっていない。インターネットの普及にともない本離れが進行する中、図書館としてはデータベースなどで資料提供をする道を今後も模索していく。

総合評価	現状維持	書店業者、レンタルDVD店が減少する中、誰でも無料で本や映像資料等を提供する図書館の役割はますます重要になっている。生活や仕事に役立つ本など、町民の幅広い資料要求に応えられる本を揃えると共に、県と市町村が協働で運営する電子図書館の利用や、館内の視聴覚資料を充実させ、利用者層の拡大に努めることが求められる。また、読書を推進する活動に力を入れる必要がある。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	地域資料保存事業			担当課名	教育こども課
(予算書コード)	10-04-04-12-01			担当係名	図書館係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	
事業の開始・終了	平成 29 年 6 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)				
根拠法令等の名称	図書館法				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	未来の下諏訪町民に町の歴史的資料を残すため、下諏訪町の昔の姿がわかる写真・映像をデジタル化し、文字情報と共に保存する。保存された情報を町民がアクセスしやすい形で提供する。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	デジタル化した写真数	デジタル化した写真数	枚	目 標	150	100	100
				実 績	587	234	
達成率	391.3%	234.0%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	437 千円		133 千円		133 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	0.30 人	336 千円	0.30 人	396 千円	0.30 人	386 千円
	正規職員人件費 B	0.10 人	642 千円	0.10 人	662 千円	0.10 人	658 千円
事業費合計 C (A+B)		1,079 千円		795 千円		791 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
	うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		1,079 千円		795 千円		791 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である 受益者は町民全体であり、また、費用負担は発生しない。
効率性	B	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 検討の余地がある 令和2年度まではシルバー人材センターを通して作業者を委託し、資料の見直し作業など内容の確認作業を実施していた。現在はボランティアによる更新となっている。今後保存するデータが多くなった場合など、作業者の確保など費用の確保も必要とってくる。現在はできる範囲内で効率的な運営がなされている。
達成度	A	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以上である 写真・映像ともに目標を上回って保存することができた。町民への還元ということでは、図書館内での展示や瓦版を作成し配布を行ってきた。今後も提供された写真等についてデジタル化を図っていききたい。また、町民からの投稿も増えるようPRしていききたい。

総合評価	拡 充	県の地域発元気づくり支援事業の補助を3か年計画で受けており、最終年である令和元年度にはインターネットによる情報発信を行った。また、この事業は今後も継続的に資料を保存し、文化の継承と地域活性化に役立てる必要があるため、インターネット公開に要する費用のみならず、作業ボランティア等への費用確保が必要になると考えられる。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	町が所有する記録データも、作業員を確保しながら必要なものを保存していくことが必要だと考えるため。